



山王台だより10月号

令和2年 9月30日
横浜市立山王台小学校
〒235-0016
横浜市磯子区磯子5丁目2-1
TEL045 (755) 1107

【学校教育目標】自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる

40年の節目の年に

～今の頑張りの姿を記憶に～

副校長 三浦 達郎

40周年記念行事の一つ、航空写真の撮影が行われました。子どもたちがやがて大人になったとき、そういえばあの時、航空写真を撮ったり、40周年の祝う会があったりしたことを思い出すのでしょうか。今年は、それ以上にコロナ色で、すべてがその記憶に彩られてしまうのではないかと心配です。



新聞に、ある大学生の投稿が掲載されていました。歳の離れた小学校1年生の弟の成長を喜んでいるというものでした。「真夏の学校は、教室が暑くてエアコンが効かない。休み時間も、熱中症予防で外へ遊びに出られないという。夏休みにどこにも出掛けられなくても、授業が長く宿題が多くても、弱音を吐かずに頑張っている弟はすごいと思った。」この記事を目にしたときに、お姉さんの目線で弟のことをこのように見られる感性の豊かさに驚きました。

職員室では、今年度、次のような会話がよく聞かれました。「今年の1年生は、最初から給食の準備が短時間でしっかりできるね。」「久しぶりの学校にも関わらず、子どもたち落ち着いて学習している。」「チャイムが鳴らなくても、自分たちで気づいて教室にもどっているよ。」

制限された日々の生活、予定されていた行事等も中止や変更となり、必ずしもお祝い気分にはなれない40周年の今年です。こういう大変な時期をみんなで乗り切ろうと頑張っている今の姿こそが、財産であり40周年の節目に山王台小学校に在籍した子どもたちの姿としてしっかりと記憶に刻まれることでしょう。

前期最終日には、あゆみを渡します。是非お子さんと一緒に頑張っている姿を喜び、子どもたちが後期に向けて前向きな気持ちになるよう活用いただければ幸いです。